

国際シンポジウム

カタログ・レゾネ

デジタル時代のアーカイブとドキュメンテーション

美術に関するアーカイブの重要性が近年注目されています。美術史研究では、特定の芸術家や美術館、コレクションの全作品を網羅した書物のことを「カタログ・レゾネcatalogue raisonné」と呼び、作家・コレクションに関する必須の文献とみなしていますが、その編纂に際し、作家・作品研究とともに、アーカイブ資料（手紙、日誌、作品売買記録、所蔵品台帳、写真記録、画廊ラベル等）やドキュメンテーション資料（新聞・雑誌記事、展覧会冊子等）がきわめて重要な役割を果たしていることは見落とされがちです。そこでデジタル時代において一層の重要性を増しつつあるカタログ・レゾネに着眼点を置きつつ、その編纂過程で重要な役割を果たすアーカイブ資料、ドキュメンテーション資料について多様な視点から考察します。

本シンポジウムは19世紀フランス美術に関するカタログ・レゾネ編纂拠点として世界に名高いウィルデNSTEIN・プラットナー研究所と国立西洋美術館とが共同で開催するものです。美術史研究の視点からアプローチすることで、従来アーカイブの文脈では等閑視されてきた新しい論点の提示を試みます。

日時

2019年7月10日(水)

Wednesday 10 July 2019, 10:00 - 17:30
*simultaneous translation to Japanese

会場

国立西洋美術館 講堂 (地下2階)

Venue:
Auditorium, B2 floor, Special Exhibition Wing,
The National Museum of Western Art, Tokyo
(7-7 Ueno-koen, Taito-ku, Tokyo 110-0007, Japan)

先着90名：聴講無料 (事前申し込みが必要です)

展覧会鑑賞は含まれません。展覧会鑑賞には別途観覧券が必要です。

Organized by:
Wildenstein Plattner Institute,
The National Museum of Western Art

使用言語：日・英・仏 (※同時通訳つき)

The deadline for registration is 8 July 2019.

Contact information: CR2019@nmwa.go.jp

申込方法

件名に「2019年7月10日シンポジウム参加」とご記入いただき、ご氏名、ご所属、ご連絡先メールアドレスを添えて、下記宛に電子メールでお申込みください。

申込先 CR2019@nmwa.go.jp

申込締切 2019年7月8日(月)

Timetable 9:30 受付開始 (国立西洋美術館本館1階)
Registration in the National Museum of Western Art - entrance hall

1	10:00 ~ 10:15	開会の辞、趣旨説明 馬渕 明子 (国立西洋美術館長) Welcome and Introduction by Akiko Mabuchi (General Director of NMWA)
2	10:15 ~ 10:55	エリザベス・ゴレイエブ (ウィルデンスタイン・プラットナー研究所所長) 「ウィルデンスタイン・プラットナー研究所 — デジタル世代に向けての新しい カタログ・レゾネとアーカイブ調査」 Elizabeth Gorayeb (Executive Director of Wildenstein Plattner Institute) <i>Wildenstein Plattner Institute: Reinventing Catalogue Raisonné and Archival Research for the Digital Generation</i>
3	10:55 ~ 11:45	フロランス・ソニエ (ウィルデンスタイン・プラットナー研究所パリ事務所長) ソフィ・ピエトリ (ウィルデンスタイン・プラットナー研究所アーカイブ部門長) パスカル・ペラン (ウィルデンスタイン・プラットナー研究所研究部門長) 「アーカイブと資料、ドキュメンテーション — デジタル時代における収集・分析 ・活用」 Florence Sonier (Head of WPI Paris Office) Sophie Pietri (WPI Head of Archives) Pascal Perrin (WPI Head of Research) <i>Archives, sources et documentation: collecte, analyse et traitement à l'ère du numérique</i>
	11:45 ~ 13:15	昼食休憩 Lunch
4	13:15 ~ 13:55	ポール＝ルイ・デュラン＝リュエル (デュラン＝リュエル画廊アーカイブ) 「デュラン＝リュエル画廊とそのアーカイブ」 Paul-Louis Durand-Ruel (Archives Durand-Ruel) <i>La Galerie Durand-Ruel et ses archives</i>
5	13:55 ~ 14:45	陳岡 めぐみ (国立西洋美術館主任研究員) 川口 雅子 (国立西洋美術館情報資料室長) 「ミュージアム・ドキュメンテーションと『松方コレクション 西洋美術全作品』編纂」 Megumi Jingaoka (NMWA Curator) Masako Kawaguchi (NMWA Head of Research Library) <i>Museum Documentation and the Compilation of "The Matsukata Collection: Complete catalogue of the European art"</i>
	14:45 ~ 15:00	休憩 Coffee Break
6	15:00 ~ 15:40	山梨 絵美子 (東京文化財研究所副所長) 「矢代幸雄の東洋美術総目録構想とデジタル時代の美術アーカイブ」 Emiko Yamanashi (Deputy Director General, Tokyo National Research Institute for Cultural Properties) <i>Yashiro Yukio's Plan of "Complete Catalogue of East Asian art" and its Fruit as Art Archive in the Digital Age</i>
7	15:40 ~ 16:20	竹内 順一 (東京藝術大学名誉教授/茶道美術史家) 「空前絶後のカタログ・レゾネ『大正名器鑑』 — 茶道具名物記の歴史を踏まえて」 Jun'ichi Takeuchi (Emeritus Professor, Tokyo University of the Arts/Tea Ceremony Historian) <i>"Taishō Meikikan" as the Greatest Catalogue Raisonné of Meibutsu (distinguished tea utensils): In the Light of the History of Meibutsuki (Records of distinguished tea utensils)</i>
8	16:25 ~ 17:30	パネル・ディスカッション モデレーター：馬渕 明子 Panel Discussion
	17:30	閉会 End of Symposium